

## 学校法人東京女子大学2025年度事業計画

### A. 教育

#### 1. 2024・2025年度教学改革による新教育体制の始動

(1) 全学共通カリキュラムの大胆な改革による、リベラルアーツ教育の進化

A 「知のかけはし科目」の充実 —リベラルアーツ教育の礎を形成—

B AI・データサイエンス科目の充実 —情報社会に必須の基礎学力を習得—

C 充実したグローバル教育

- 「英語を」ではなく「英語で」学ぶ英語教育
- 「Global Citizenship Program (GCP)」の推進
- 「CLIL (Content and Language Integrated Learning) Project」

(2) 再編成した現代教養学部「1学部6学科」体制の実施

人文学科、国際社会学科、経済経営学科、心理学科、社会コミュニケーション学科、情報数理科学科の6学科に再編

- 専門の学びを軸とした、分野横断的な学びの後押し
- 他学科科目(10単位)の履修を必修化
- 企業との連携や海外での学びの機会の拡充

(産学連携科目や寄付講座の開講、海外研修を含む科目の設置など)

#### 2. 大学院の取り組み(博士前期課程・博士後期課程)

- ダブル・ディグリー・プログラムの実施
- 学士・修士5年プログラムの実施

#### 3. 教育の質保証の取り組みの推進

- 各種FD研修、また学生が参加する教育の質保証の取り組み(「学生による授業評価」アンケート、「学生による授業評価」に関する検討会、学生参加型FD)、教員相互の授業参観、新任教員サポート制度等。教員による教育の質保証の取り組みの強化。
- ティーチングポートフォリオを活用した教育力の向上

#### 4. 内部質保証体制の強化

- 恒常的なマネジメントサイクルの確立
- 第4期認証評価に向けた内部質保証の実質化

### B. 研究活動の推進

#### 1. 研究所等における研究活動

(1) 比較文化研究所

- 個人研究・総合研究・国際共同研究の助成

- 海外の研究機関（研究所・センター）との協定締結
- 蒐書－コレクションを補完・充実、デジタルアーカイブの公開
- (2) 比較文化研究所附置丸山眞男記念比較思想研究センター
  - 丸山文庫バーチャル書庫・草稿類デジタルアーカイブの運用
  - 講演会、公開研究会の開催
- (3) 女性学研究所
  - 共同研究・個人研究の助成
  - 講演会、シンポジウムの開催
  - 多様な「女性」を理解するレクチャー・シリーズ「Woman's Café」の実施

## 2. 研究推進

- 研究活動活性化に資する競争的資金（科学研研究費助成事業等）の申請支援・採択率の向上（国際学術交流費の助成対象の見直し）
- 公的研究費の適切な運用・管理及び研究倫理の啓発

## C. 学生の受入れ

### 1. 高大連携の強化

- 高大連携校とのプログラムの充実。より緊密な教育連携活動の推進。
- 高大連携校を対象とした先取り履修科目の提供

### 2. 入学前教育の充実

- 大学での学びに連なるプログラムによる初年次教育への連動

## D. 国際化の推進

### 1. 海外派遣プログラム参加促進

- 協定校留学、トビタテ！留学 JAPAN プログラム、短期語学研修の参加者促進
- 留学ファシリテーターによる留学相談など学生のニーズに合わせた留学相談体制の充実。

### 2. 協定校開拓・表敬訪問等

- Global Citizenship Program (GCP) の開始に伴う英語圏の協定校の開拓
- アジア圏や、社会科学系の分野に強い北欧地域の協定校の開拓
- 交換留学協定締結に向けた本学での留学生受け入れ体制の検証

### 3. スタディ・ツアーの再開

- 本学教員による短期の海外体験の機会を提供するスタディ・ツアーの実施
- 訪問先での交流など、学生の国際的視野の拡大に資するプログラムの充実

### 4. ウクライナからの留学生の受け入れ支援

- 一般財団法人パスウェイズ・ジャパン(PJ)、日本国際基督教大学財団(JICUF)と共同して、学びの機会を失ったウクライナの学生を支援(2023年度より継続)。

## 5. アジア・フォーラムの活動

- 本学で実施されているアジアに関する個別の活動の可視化
- フォーラムの設置およびサイトの充実による、アジアに関する研究活動の学際化・活発化の推進

# E. 学生支援

## 1. 学生生活支援

### (1) 学生の活動支援

- コロナで中断した学生の自主的な活動(自治会、大学祭、サークル活動、寮生委員会など)の活性化の支援。

### (2) 充実した奨学金制度

- 新たな本学独自の予約型給付奨学金の導入
- 高等教育の修学支援新制度における支援の適切な実施

### (3) 学修ポートフォリオの運用

- 学修ポートフォリオによる個別学生ごとの学修状況などの可視化
- サブシステムとして正課外活動(サークル活動、アルバイト、ボランティア活動など)や就職活動での活用促進

### (4) 学生相談室における青年期の学生の成長支援

- 個人相談体制の充実及び強化
- 予防教育的な心理教育プログラムの企画、実施

### (5) 新入生歓迎リトリートの実施

- 建学の精神を学び、教職員および新入生同士が寝食を共にして学科を超えた関係を構築

## 2. キャリア支援

- 有名企業への橋渡しに努め、有名企業400社就職実績女子大学3位や就職率99%以上が続いている高い採用実績の継続
- キャリア・カウンセリング支援体制の維持・発展(就職活動の早期化・長期化・多様化(複雑化)への対応)
- 多様な年次・対象に対応した就活支援行事の充実
- 大学経由インターンシップの充実。新たな参加企業の開拓
- 留学生への支援の強化

# F. 社会連携・地域貢献

## 1. エンパワーメント・センター事業の推進

- (1) キャリアに関するエンパワーメント事業

- 卒業生対象個別キャリア・カウンセリング、ライフキャリア支援講座等
- (2) 創立 100 周年記念事業【VERA 募金 エンパワーメント・センター指定寄付による】
  - 同窓会、卒業生との連携による出張エンパワーメント・センターや各種イベントの実施

## 2. 近隣の地方自治体との連携

- (1) 公開講座・講演会
  - 本学の知的資源を活用した各種の公開講座や講演会などの実施。地域の方をはじめ多くの方々に生涯学習の機会の提供。
- (2) 心理臨床センター事業
  - 相談事業：学内の実習機関ならびに地域における心理相談施設の運営
  - 研修・研究事業：公開講演会、大学院在学学生ならびに修了生と研修の場として拡大カンファレンスの開催
  - ネットワーク事業：杉並区と協力「発達障害児地域支援講座」の実施
- (3) 近隣の大学や地方自治体との共同事業等
  - 地域のニーズを捉えた、杉並区、武蔵野市、三鷹市との連携による講座の開講、各種事業等への協力、講師の派遣。

## 3. 女性の活躍のためのキャリア構築支援

- 高校生以上の女性を対象にした起業コンテスト「東京女子大学ビジネス・プランニング・コンテスト」の開催。
- 社会人のビジネススキル向上のための講座の開講

## 4. 同窓会・卒業生との連携強化

- 同窓会との協力体制の構築
- 大学として卒業生に向け継続的な情報発信。連携を強化するための仕組みづくり。

## G. 広報の強化

- 「リベラルアーツ教育の東京女子大学」のイメージの浸透、競合大学との差別化。
- 2025 年度からの新学科体制における学びの特色、学問分野の訴求
- 高校生との接触機会を絶やさず、ナーチャリング施策の充実
- 公式サイト、公開動画の充実、SNS の活用の継続
- 高校教員、保護者、受験生との関係強化

## H. 教育研究環境

### 1. 教育・学修支援センターの活動

- ICT（情報通信技術）を活用した授業方法や学修方法の提案およびそれに資する調査・研究の推進。
- 学生を対象とする学修における ICT 活用の紹介と実践の場の提供

- 教員を対象とする ICT を活用した高度な授業方法（反転授業等）の紹介・実践の場の提供
- ICT を活用する「知のかけはし科目」や教室外での学びを支援する LA（ラーニングアシスタント）の制度運用及び技術力向上のための支援。

## 2. デジタル化戦略

- デジタル技術を活用した教育支援体制の高度化（e-learning の強化、学修ポートフォリオの導入並びにハイフレックス授業の環境整備など）と授業に関するサポート体制の充実。
- グループウェアを活用した教職員間の情報共有の円滑化、意思決定の迅速化
- ペーパーレス化を進め、環境保全・SDGs 活動を推進。
- 電子証明書システムによる電子証明書の発行。キャッシュレス化の実現。

## 3. 教育研究関係設備の整備

- 学内無線 LAN 環境の整備
- アクティブラーニング教室やラーニングコモンズの整備
- 情報処理教室 PC、プリンタ、サーバ、Wi-Fi 環境の更新
- 教職員を対象としたセキュリティ教育の実施

## 4. 図書館—新たな機能・役割に向けた取り組み—

- 図書館業務システムの更新。クラウド化によりサービスの安定供給を実現。
- 2025 年度教学改革に対応した蔵書（電子資料を含む）の構築
- 学習・研究スタイルやニーズの変化に対応した学修支援機能の充実

## 5. 建物の保全

- 11 号館空調熱源の更新（効率的なエネルギー供給の実現）
- 学内建物の非構造部材の耐震点検の実施

# I. 管理・運営

## 1. 組織・運営体制の強化

- グループウェアを活用した学内の業務のデジタル化の推進
- 組織運営、業務の効率化を主眼とした、部署間の連携強化、情報共有の促進
- 大学が抱える課題について、認知力、解決力の向上を図り、大学運営・教職協働を担う教職員の育成。
- 限られた人的資源を有効活用するため、戦略的な人材育成を行うことを目的とした研修制度の見直し。
- 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画に基づく、活躍できる人材の育成。
- 女性のみならず教職員全体のワーク・ライフ・バランスの実現。育児・介護支援制度の利用の促進。
- 内部統制システムの整備

## 2. 経営基盤の強化

- 変化する世の中を見据えつつ、長期的な展望に基づく大学経営
- ガバナンス体制、管理・運営体制の強化
- 教育・研究活動の一層の活性化を目指した予算編成
- 経営の適正化。教育・研究の向上に不可欠な投資の継続な実施
- 健全な財務基盤の構築を進め、事業活動収支の均衡化